

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 28日

山形市長 佐藤 孝弘 殿

提出者

住 所 山形市立谷川二丁目1213番地の1

氏 名 株式会社ハッピープロダクツ

代表取締役 金田 和彦

電話番号 023-686-4121

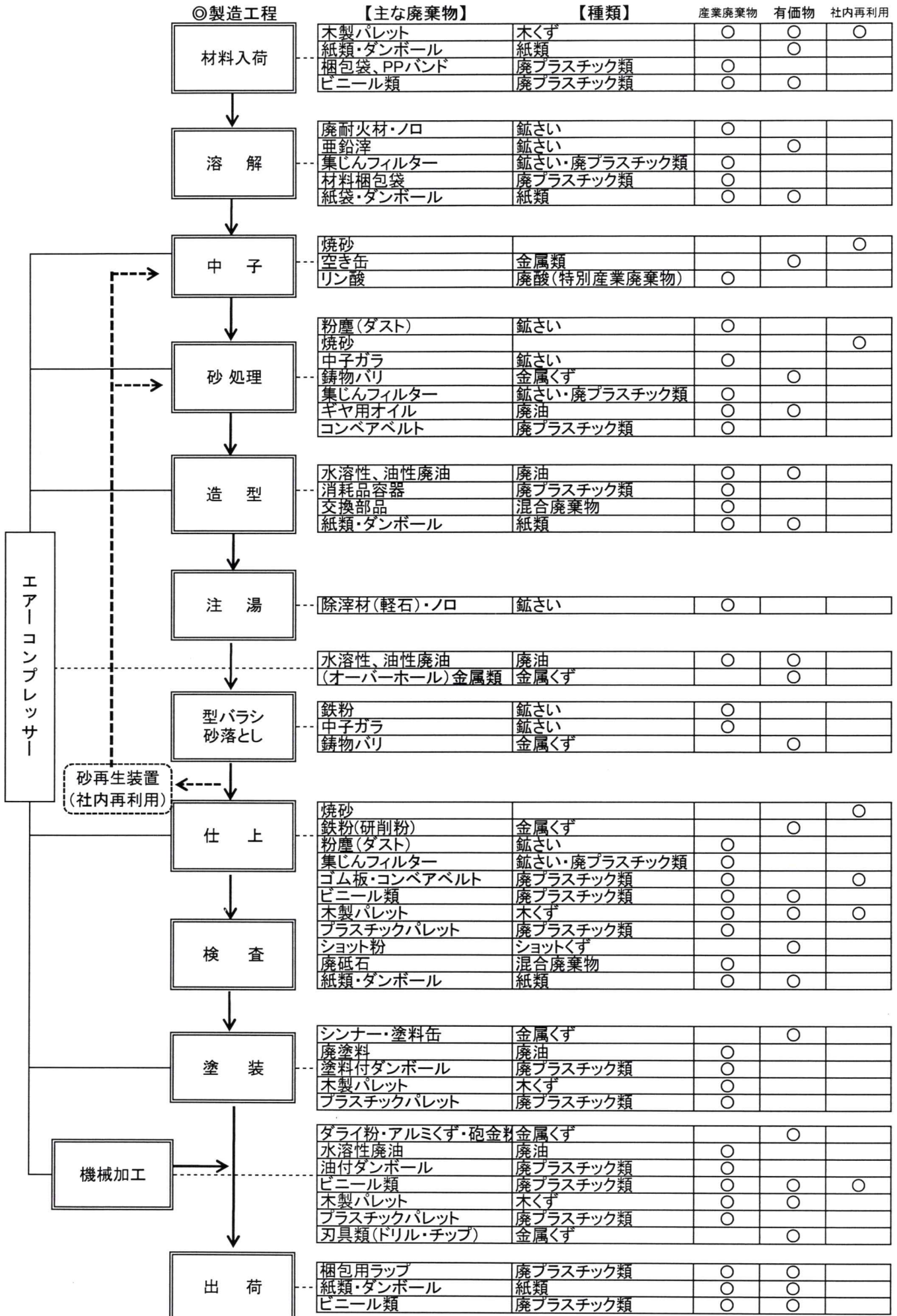
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ハッピープロダクツ
事業場の所在地	山形市立谷川二丁目1213番地の1
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業（E31）
② 事業の規模	前年度の製品出荷額23億円
③ 従業員数	166名（全社）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1

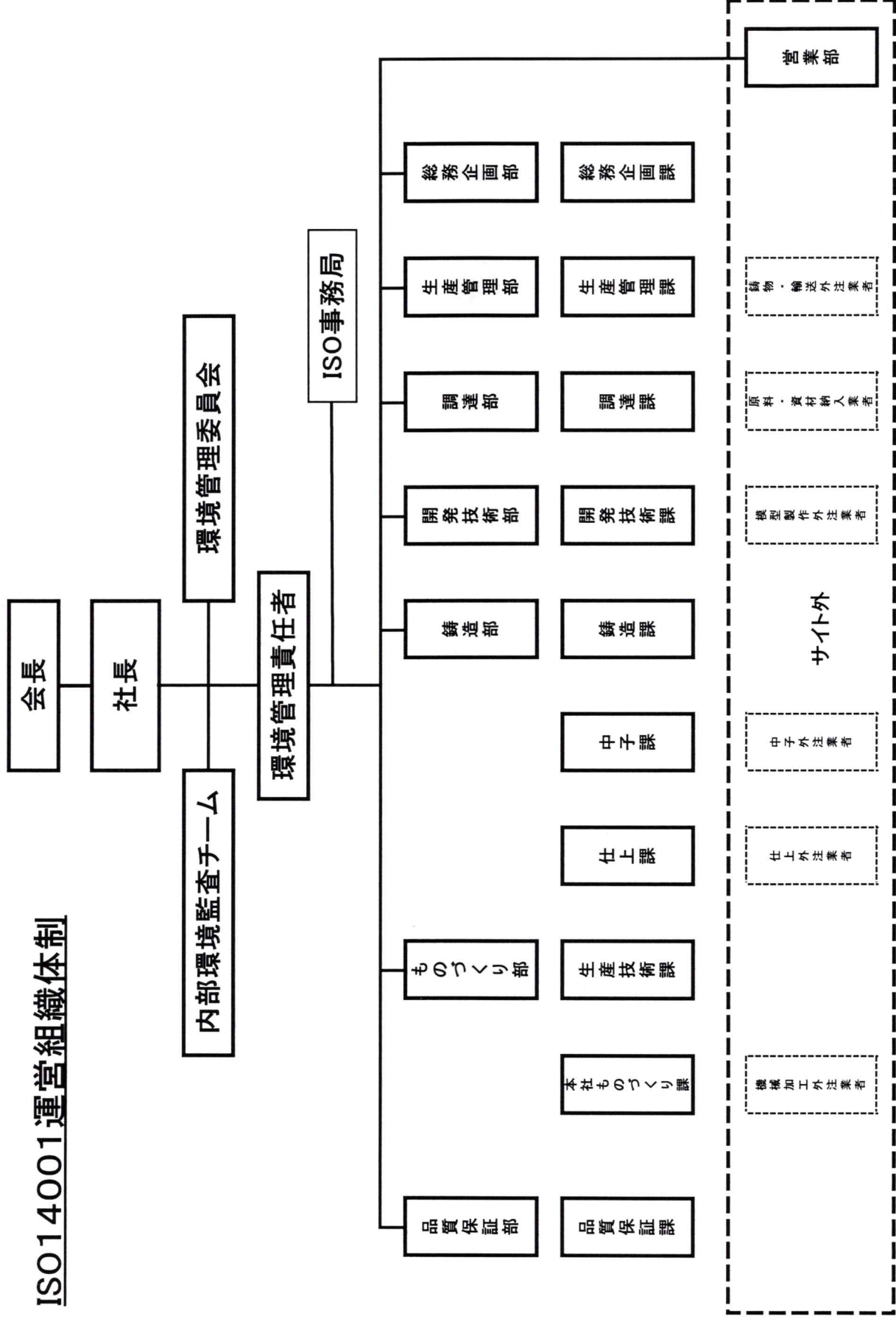


④産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1-1



ISO14001 運営組織体制



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・焼砂(廃砂)を自社砂再生装置で中間処理を行い再生利用(鉱さい) ・焼砂(廃砂)を生産砂処理ラインに直接再生利用(鉱さい) ・資材納入パレットを納入業者へ返却及び通いパレットの運用(木くず・廃プラ) ・使用済木製パレットの売却(木くず) ・廃棄コンベアベルトの売却(廃プラスチック) ・廃棄物の有価物化1(ビニール類、紙類、アルミ缶、廃油、鋳物切粉) ・廃棄物の有価物化2(亜鉛滓、金属くず、鋳物バリ、研削粉、鉄粉) ・廃棄物の有価物化3(鉱さい/農業資材の販売業者に売却-商品化)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記項目を継続して実施していく		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・職場毎、廃棄物を分別・保管し産業廃棄物置場に種類毎廃棄 ・廃棄袋に部署名を記入(違反ゴミ等の特定) ・磁選ドラムで焼砂(廃砂)と金属くずに選別し再生利用及び有価物に分別 ・職場及び産業廃棄物置場を巡視(分別・違反確認) ・産業廃棄物写真及び有価物見本を作成・掲示(見える化)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記項目を継続して実施していく		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・焼砂(廃砂)を自社砂再生装置で中間処理を行い再生利用（鉱さい） ・焼砂(廃砂)を生産砂処理ラインに直接再生利用（鉱さい） ・廃油を冷却ハンガーチェーンの潤滑油として再生利用（廃油）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 上記項目を継続して実施していく		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
（今後実施する予定の取組）			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への処分委託優先 ・処分及び収集運搬委託契約書をファイリング・一覧表化で管理 ・産業廃棄物処分業及び収集運搬業許可証の有効期限の管理 ・マニフェスト伝票の交付から終了までの管理（種類別データ集約） ・廃棄物の性状分析を定期的実施 ・処分業者へ自社運搬（持込）時、処分業者の現場を確認 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
上記項目を継続して実施していく			
※事務処理欄			

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度(4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	排出量	3,217.300t	4,532t	7,630t	0.187t	0.970t	43.830t	0.491t	3,274.940t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	排出量	3,056.435t	4,305t	7,249t	0.178t	0.922t	41.639t	0.466t	3,111.193t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度(4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,493.250t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.036t	0.000t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,493.250t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.036t	0.000t	1,493.286t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度(4年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	597.300t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	597.300t
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	597.300t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	597.300t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
①現状	【前年度(4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度(4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	全処理委託量	1,559.350t	4,532t	7,630t	0.187t	0.970t	43.794t	0.491t	1,616.954t
	優良認定処理業者への処理委託量	262.580t	4,532t	0.020t	0.187t	0.000t	0.000t	0.491t	267.810t
	再生利用業者への処理委託量	1,040.490t	0.000t	7.610t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	1,048.100t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t	4.322t	0.020t	0.000t	0.000t	0.000t	0.051t	4.393t
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	鉱さい	廃プラスチック類	木くず	金属くず	燃え殻	廃油	ガラス・陶磁器く	合計
	全処理委託量	1,481.383t	4,305t	7,249t	0.178t	0.922t	41.604t	0.466t	1,536.106t
	優良認定処理業者への処理委託量	249.451t	4,305t	0.019t	0.178t	0.000t	0.000t	0.466t	254.419t
	再生利用業者への処理委託量	988.466t	0.000t	7.230t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	995.695t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t	0.000t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t	4.106t	0.019t	0.000t	0.000t	0.000t	0.048t	4.173t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。